



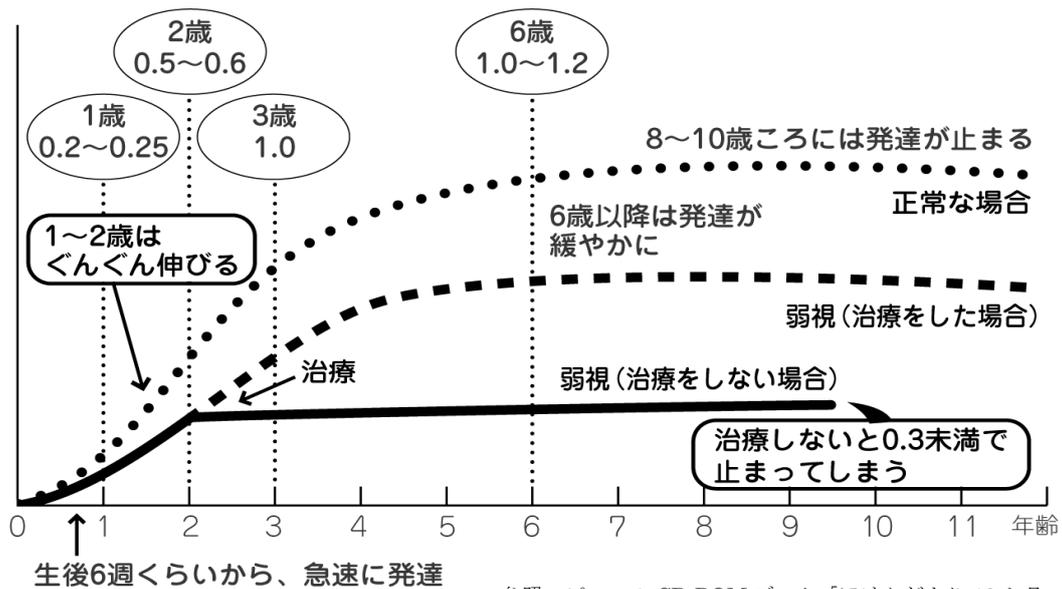
# ほけんだより

平成 29 年 10 月

大田区立保育園

10月10日は「目の愛護デー」です。私たちは見ることで形や明るさを感じとり、物事を楽しんだり、食べ物をおいしそうと思ったりすることができます。子どもの学びの80%は見ることから得られると言われるほど、見えるということはとても大切なことです。今回は、子どもの目の発達についてお知らせします。

## ～乳幼児の視力の発達～



生まれたばかりの頃は明暗がわかる程度だった視力は、その後ぐんぐん発達し、6歳頃には大人と同じくらいの視力になると言われています。その間に何らかの原因で視力が伸びなかった場合は、早めに治療することが大切です。子どもは見えにくいということを、大人にうまく伝えることができません。日頃からお子さんの目の状態に注意しましょう。



このような様子はありませんか？



明るい戸外で非常にまぶしがる

テレビや絵本などに近づいて見る

瞳が左右にずれている



ものを見る時、目を細めたり横目で見たり頭を傾けたりする

つまずきやすい

このような様子がみられる時は、視力に何らかの問題がある可能性があります。気づいた時は、早めに眼科の医師に相談しましょう。